

- = 県政与党系
- = 県政野党系
- = 中立系

## 沖縄市区

候補者名 (敬称略)	年齢 (5月3日時点)	政党	憲法改正について	その理由	憲法9条について	その理由	憲法9条以外の憲法改正についての考え
仲村未央	51	立民現4	変えない方がいい	前文・条文全体を通じて戦争放棄、平和主義を貫いている。世界に冠たる平和憲法として守り活かすべきだ。	変えない方がいい	憲法9条は平和憲法の肝、堅持する。	憲法尊重擁護義務を果たす立場にある為政者、権力者からの提起については慎重である。改正を急ぐ必要はない。
花城大輔	52	自民現3	変えた方がいい	自民党では憲法改正に関する条文イメージとして、①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実を掲げ、実現に向けて取り組んでいる。	自衛隊以外の内容も含めて全体的に変えた方がいい	自衛隊については、憲法改正により自衛隊をきちんと憲法に位置づけ、「自衛隊違憲論」は解消すべきであり、現行の9条1項・2項とその解釈を維持し、自衛隊を明記するとともに自衛の措置（自衛権）についても明記すべきと考える。	すべての条項を解りやすく書き換えることに加えて、憲法前文については、我が国の成り立ち、歩んできた歴史、日本人の持つ美学、精神性を表記し、憲法前分を読む国民が、我が国に誇りが持てるような内容にするべきである。
小渡良太郎	44	自民現1	変えた方がいい	制定後70年余が経過し、時世に合わなくなってきた条文もある以上、少なくとも見直しの議論をはじめめることは必要不可欠である。	自衛隊以外の内容も含めて全体的に変えた方がいい	自衛隊については、憲法改正により自衛隊をきちんと憲法に位置づけ、「自衛隊違憲論」は解消すべきであり、現行の9条1項・2項とその解釈を維持し、自衛隊を明記するとともに自衛の措置（自衛権）についても言及すべきと考える。	①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実の2項目を掲げており、来年は自民党結党から70年の節目の年であり、本年中に我が党の党是である憲法改正実現のため、国民投票を通じ、主権者である国民の判断を仰ぐことを目指す。
島袋恵祐	37	共産現1	変えない方がいい	日本国憲法の全条項を守り、とくに平和的民主的諸条項の完全実施をめざす。変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにする政治だ。	変えない方がいい	「戦争放棄」「戦力不保持」「交戦権の否認」が定められている平和憲法を守り、生かす政治こそが必要。	日本国憲法の全条項を守り、とくに平和的民主的諸条項の完全実施をめざす。変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにする政治だ。
幸喜愛	58	社民新	変えない方がいい	軍事力強化を目指す方向への改正と言わざるを得ず、国民の平和と安全を守るための改正とは思えない。	変えない方がいい	世界に誇る平和憲法であり、国際社会が求める理念。自民党の言う改憲案改正の必要はなく、現行憲法で対応可能だと考える。今こそ平和憲法の掲げる理念を生かす政治に努めるべきである。	世界に誇る平和憲法であり、国際社会が求める理念。自民党の言う改憲案改正の必要はなく、現行憲法で対応可能だと考える。今こそ平和憲法の掲げる理念を生かす政治に努めるべきである。
高橋真	47	公明新	-	「エ・どちらでもない」選択肢を追加。現在の憲法の理念を高く評価する。平和・人権・民主の3原則は堅持しながら、時代の変化に合わせて必要な事項を加える「加憲」の立場である。	変えない方がいい	専守防衛に徹し、その範囲内で抑止力を保持する。この理念は、国民に理解され浸透している。あえて変える必要はない。	地球環境が温暖化の影響により気候変動など大きく変化している。地球環境を保護する理念の追加や人権を尊重する等の理念を加える議論があってもよい。